

Ⅰ章 正の数・負の数
重要な考え方編その②
(教科書 p 28～p35)

教科書p28

○正，負の減法について

正，負の減法は，ひく数の符号
を変えて加える。

①加法に直す！

$$\begin{aligned} (+\square) - (+\triangle) &= (+\square) + (-\triangle) \\ (+\square) - (-\triangle) &= (+\square) + (+\triangle) \end{aligned}$$

つまり、①、②をするということ。

② + は - に
- は + に

練習問題 次の計算をなさい。

$$(1) (+63) - (+39)$$

$$(2) \left(-\frac{3}{4}\right) - \left(-\frac{5}{12}\right)$$

答え

$$(1)(+63) - (+39)$$

$$= (+63) + (-39)$$

$$= +(63 - 39)$$

$$= +24$$

$$\begin{array}{r} \overset{5}{\cancel{3}} \overset{10}{3} \\ - 39 \\ \hline 24 \end{array}$$

① - を + にしよう。

② 39 の符号を + から - にしよう。

あとは、加法の計算をすればいいね。



$$\begin{aligned}
 (2) & \left(-\frac{1}{4}\right) - \left(-\frac{5}{12}\right) \\
 & = \left(-\frac{3}{4}\right) + \left(+\frac{5}{12}\right) \\
 & = \left(-\frac{9}{12}\right) + \left(+\frac{5}{12}\right) \\
 & = -\left(\frac{9}{12} - \frac{5}{12}\right) \\
 & = +\frac{4}{12} \\
 & = +\frac{1}{3}
 \end{aligned}$$

←分母分子を4でわる
約分を忘れない😊

① - を + しよう。

② $\frac{5}{12}$ の符号を - から + にしよう。

通分しよう。4 と 12 の最小公倍数は 12 だ。

あとは、加法の計算をすればいいね。



教科書p31

加法の式では，加法の記号 $+$ やかっこを省いて，項だけを並べて書くことができる。また，式の最初の項が正の数の方は，正の符号 $+$ を省くことができる。

かっこのはずし方【重要！】

同 $+ (+ \bigcirc) \rightarrow + \bigcirc$

異 $+ (- \bigcirc) \rightarrow - \bigcirc$

異 $- (+ \bigcirc) \rightarrow - \bigcirc$

同 $- (- \bigcirc) \rightarrow + \bigcirc$

同符号の時は +
異符号の時は -

練習問題 次の計算をなさい。

$$(1) 56 + (-25) - 15$$

$$(2) (-8) - (+9) - (-13)$$

答え $(1) 56 + (-25) - 15$

$= 56 - 25 - 15$

$= 56 - (25 + 15)$

$= 56 - 40$

$= 16$

$+ (-25) \rightarrow -25$

同符号どうしを計算しよう。

$$(2) (-8) - (+9) - (-13)$$

$$= -8 - 9 + 13$$

$$= -(8 + 9) + 13$$

$$= -17 + 13$$

$$= -4$$

$-(+9) \rightarrow -9$
 $-(-13) \rightarrow +13$

同符号どうしを
計算しよう。

以上です。お疲れさまでした。
このスライド以外にもできることを
見つけてやってみましょう。準備し
たもん勝ちです😊 きたる登校日、
万全の状態で挑みましょう。

